

第 44 回 生産地における軽種馬の疾病に関するシンポジウム プログラム

主催：日本中央競馬会（JRA）

開催日時：平成 28 年 7 月 14 日（木） 10 時 00 分～15 時 00 分

開催場所：静内エクリプスホテル 2F（日高郡新ひだか町静内吉野町 3-1-1）

<開 会>

<開会の辞> 額田 紀雄（JRA 馬事部防疫課）

<開会挨拶> 山野辺 啓（JRA 馬事部長）

○シンポジウム 1（10 時 10 分～：発表各 20 分＋質疑各 3 分＋総合討論 30 分）

H25-27 年度生産地疾病等調査研究「競走期に影響を及ぼす若馬の発育期整形外科的疾患」

座長：佐藤 文夫（JRA 日高育成牧場）

- 1) 軽種馬の発育期整形外科的疾患（DOD）について
○佐藤 文夫（JRA 日高育成牧場）
- 2) サラブレッド種 1 歳馬のレポジトリー提出 X-ray 画像に認められる異常所見
○宮越 大輔（日高軽種馬農業協同組合）
- 3) 軽種馬の飼養管理に影響を及ぼしている発育期整形外科的疾患の調査
○前田 昌也（日高軽種馬農業協同組合）
- 4) DOD の外科治療
○樋口 徹（NOSAI 日高家畜診療センター）
- 5) 若齢サラブレッド 393 頭の膝関節に発生した骨関節疾患に対する関節鏡手術
○田上 正明（社台ホースクリニック）
- 6) 総合討論（今後の課題など）

・・・・・・・・・・昼食（12 時 20 分～13 時 20 分）・・・・・・・・・・

○シンポジウム 2（13 時 20 分～：発表各 10 分＋質疑各 5 分＋総合討論 5 分）

H25-27 年度生産地疾病等調査研究「馬感染症のサーベイランスおよび疫学調査」成績報告

座長：伊藤 満（北海道日高家畜保健衛生所）

- 1) ウイルス性疾患
○辻村 行司（JRA 競走馬総合研究所）
- 2) 細菌性疾患
○丹羽 秀和（JRA 競走馬総合研究所）
- 3) 病理学的疫学調査
○上野 孝範（JRA 競走馬総合研究所）
- 4) 総合討論

○一般講演（14 時 10 分～：発表 8 分＋質疑応答 2 分）

座長：片山 芳也（JRA 競走馬総合研究所）

- 1) 馬の *Actinobacillus equuli* 感染症の回顧的調査及び分離菌の解析について
○本間 慎太郎（北海道日高家畜保健衛生所）
- 2) 遺伝性多発性外骨症の 1 例
○山下 紀幸（日高地区農業共済組合）

座長：羽田 哲朗（JRA 日高育成牧場）

- 3) 繁殖牝馬におけるデスロレリン注射剤を用いた発情誘起の効果
○柴田 良（日高軽種馬農業協同組合）
- 4) 重種馬の胎盤停滞に対し臍帯からの注水処置（Water Infusion 法）を実施した 2 症例
○福本 奈津子（家畜改良センター十勝牧場）

<閉会の辞> 田嶋 義男（JRA 競走馬総合研究所）

<閉 会>